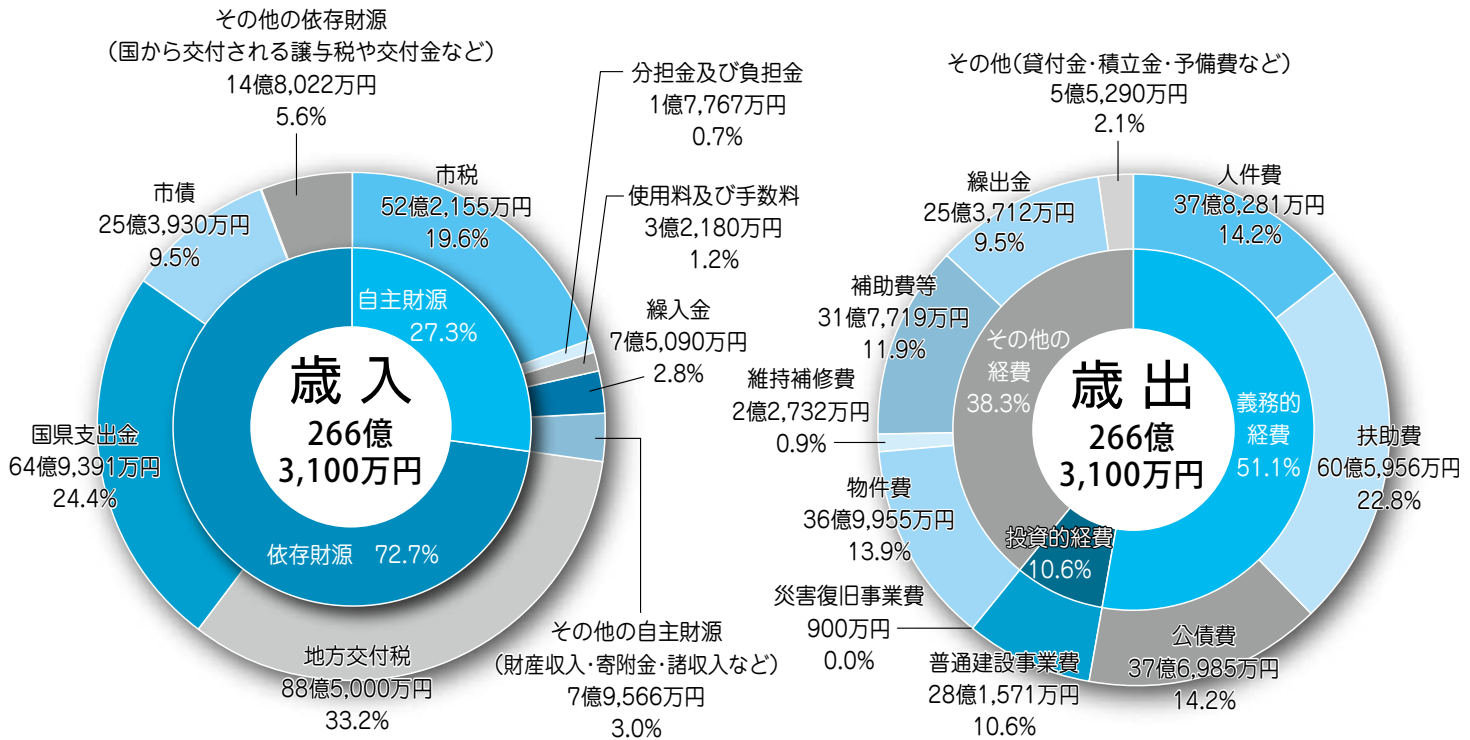


# 令和4年度の予算が決まりました！

## 一般会計

# 266億3,100万円

(前年度当初比 2.5%の増)



※金額は1万円未満を、割合は小数第二位を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。  
 ※歳出については、性質別分類にて表示しています。

### 主な事業

事業	予算額
市制施行70周年記念事業	100万円
新生児聴覚検査費助成事業	93万円
理数系人材育成協働事業(松江高専・島根大学)	600万円
久城が浜センター施設基幹的設備改良事業	8億7,582万円
道路整備交付金事業	2億7,673万円
市内高校連携推進事業	900万円

令和4年度の一般会計の予算は、266億3,100万円となり、前年度の予算と比較して6億4,700万円の増額(2.5%)となっています。

歳出においては、令和4年度は市制施行70周年という大きな節目を迎えることから、本市のさらなる発展の契機とするための市制施行70周年記念事業、子育て支援として、子どもの聴覚障がい早期発見と適切な支援の実施、保護者の負担軽減のための新生児聴覚検査費助成事業、「益田市型中高一貫教育」の確立

に向け、市内高校等との連携を深め、小中学生に対する高校の魅力発信や理数系人材の育成を推進するための理数系人材育成協働事業、市内高校連携推進事業などの新たに取組む事業のほか、老朽化した基幹的設備に対し改良工事を実施することで令和20年度までの稼働を目標とする久城が浜センター施設基幹的設備改良事業などを引き続き実施します。

歳入においては、市税収入は、52億2,155万円となり、前年度より6億3,759万円の増額(13.9%)、地方交付税については、88億5,000万円となり、前年度より3億円の増額(3.5%)を見込んでいます。

将来の負担となる市債については、25億3,930万円となり、前年度より1億5,730万円の減額(△5.8%)となっています。また、歳入の不足を補うために、財政調整基金を4億5,000万円取り崩しています。

## 目的別分類による歳出の状況

※増減率は令和3年度当初予算額との比較になります。

区分	予算額	増減率	主な内容
議会費	1億8,244万円	△0.9%	議会の運営など
総務費	30億3,912万円	4.9%	庁舎の管理、徴税、選挙の執行など
民生費	97億4,123万円	3.1%	高齢者や障がい者福祉、子育て支援など
衛生費	30億2,240万円	24.9%	医療対策、病気の予防、ごみ処理など
農林水産業費	12億8,803万円	32.3%	農業や林業、水産業の振興など
商工費	5億7,763万円	△6.2%	商業や観光の振興、企業誘致など
土木費	19億1,903万円	10.3%	道路、公園、市営住宅の整備や維持管理など
消防費	9億2,867万円	△25.3%	消防、救急救命など
教育費	21億42万円	△15.4%	小中学校、公民館の運営、文化財保護など
公債費	37億6,985万円	△4.0%	これまでに借り入れた市債の返済
その他	6,219万円	9.6%	労働費、災害復旧費、予備費

## 用語解説

- 一般会計……行政運営を行うための基本的な経費を網羅した地方公共団体の基本となる会計
- 自主財源……市が自主的に収入できる財源
- 依存財源……国や県から交付、割り当てられる財源
- 市税………市民税や固定資産税など、市民の皆さんに納めていただく税収入
- 地方交付税…税金などでは財源が不足する場合でも一定の行政水準を確保できるよう、国から交付される地方固有の財源
- 国県支出金…補助対象事業の実施状況に応じて、国や県から交付される補助金など
- 市債………公共施設の建設など、市が一度に多額の支出を必要とする場合に認められる長期の借入金
- 公債費………市債の元金と利子の支払に要する経費
- 臨時財政対策債…国の地方交付税の財源不足対策として、本来、地方交付税で交付されるものの一部を地方債として市が借り入れ、返済（償還）は後年度にその全額が地方交付税で措置されるもの

## 特別会計 ※歳入歳出同額となります。

会計名	予算額	増減率
施設貸付事業	3,963万円	△25.6%
介護保険	62億4,172万円	1.3%
国民健康保険事業		
事業勘定	52億4,800万円	0.8%
美都・匹見澄川・匹見道川診療施設勘定	4,893万円	△5.2%

会計名	予算額	増減率
後期高齢者医療	15億7,059万円	3.6%
市有林事業	2,255万円	△10.1%
匹見財産区	1,775万円	△15.3%
駐車場事業	2,191万円	△28.0%
土地区画整理事業	1億3,430万円	0.4%

## 公営企業会計

会計名	区分	収入	増減率	支出	増減率
下水道事業	収益的収支	5億2,773万円	△1.6%	5億1,404万円	△1.4%
	資本的収支	5億6,694万円	13.4%	7億1,047万円	9.1%
水道事業	収益的収支	11億7,153万円	2.6%	10億9,196万円	△0.4%
	資本的収支	3億3,509万円	△1.9%	8億6,105万円	7.4%

### ■『特別会計』とは……

特定の歳入歳出を一般会計とは区別して処理するための会計で、国民健康保険事業のように特別会計の設置が法律上義務付けられているものや、土地区画整理事業のように条例によって設置を定めているものがあります。

益田市には、施設貸付事業を含め8つの特別会計があります。

※造林受託事業については、令和4年度から一般会計に移行しました。

### ■『公営企業会計』とは……

地方公共団体の行う事業のうち、水道や下水道など、主としてサービスを利用する方からの料金収入をもって、当該事業に要する経費に充てる会計のことを指します。

使用料金を主たる収入として施設の維持管理や借入金利息返済などを行う収益的収支と、企業債などを主たる収入として施設の建設や借入金元金返済などを行う資本的収支に分けられます。